

1. 身に付ける資質・能力とその評価

	知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	学びに向かう力, 人間性等
身に付ける資質・能力	① 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解すること ② 事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりすること	① 数学を活用して事象を論理的に考察する力 ② 数量や図形などの性質を見だし統一的・発展的に考察する力 ③ 数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力	① 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え, 数学を生活や学習に生かそうとする態度 ② 問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度
割合	1/3	1/3	1/3
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観点別評価の出し方	主に次の内容を()内の資料から評価します。 ①-1 数学的な知識を正しく理解する。(テスト, ノート, 学習支援ソフト) ①-2 複数の数学的な知識を関連付けて理解する。(テスト, ノート, 学習支援ソフト) ②-1 式を手際よく計算したり変形したりする。(テスト, ノート, 学習支援ソフト) ②-2 数量の関係やデータの分布を表やグラフに整理する。(テスト, 統計ソフト)	主に次の内容を()内の資料から評価します。 ① 身の回りの問題を解決する過程や結果について, 根拠を明らかにして説明する(ノート, レポート) ② 式や図形の性質を見いだしたり, それが成り立つことを説明・証明したりする。(ノート, レポート, テスト) ③ 目的に応じて, 表やグラフから読み取ったことを説明する。(レポート, テスト)	主に次の内容を()内の資料から評価します。 ①-1 問題を数学的に解決しようと, あきらめずに考えたり, 級友と話し合ったり, ノートや教科書を読み直したりする。(観察, 振り返りシート) ①-2 問題をよりよく解決するために必要な数学的な知識や考えを探そうとする。(ノート, 観察) ②-1 導いた答えや説明をよりよく改善したり, 新たな方法を考えたりしようとする。(ノート, テスト, テストノート, レポート, 観察) ②-2 自らの学習に責任をもち, ねらいを設定して, 記録の取り方や復習の仕方, 問題集の取り組み方などを工夫する。(ノート, 振り返りシート, 問題集)
	各観点における評価資料の評価をそれぞれ数値化し, 合計点の満点に対する割合から各観点の総括を行います。		
	観点別評価と達成状況(合計点の満点に対する割合(%))の目安 A° 十分満足できるもののうち, 特に程度の高いもの 90%以上 A 十分満足できるもの 80%以上90%未満 B おおむね満足できるもの 50%以上80%未満 C° 努力を要するもの 30%以上50%未満 C 一層努力を要するもの 30%未満		

2. 観点別評価から評定へ

評定の出し方	観点別学習状況の評価を, それぞれ A° =5点 A=4点 B=3点 C° =2点 C=1点 として算出した合計点から評定を出します。A°, C° は教員側での表記とし, 通知表にはそれぞれA, Cと表記して示します。例えば「A° BB」と「ABB」は通知票でともに「ABB」と表記されます。 [評定と組合せの例(合計点)] 5 A° A° A° (15), A° A° A (14) 4 A° A° B (13), A A A (12), A° B B (11) 3 A B B (10), B B B (9), B B C° (8) 2 B C° C° (7), C° C° C° (6), C° C° C (5) 1 C° C C (4), C C C (3)
--------	---

3. 使用教科書